



クラウド環境を生かした授業を 考えてみませんか

島根県教育センター 研究・情報スタッフ

GIGA スクール構想で整備されたクラウドをベースとしたデジタル学習基盤は、今や学習者主体の学びを支える重要なインフラです。文部科学省はデジタル教科書をはじめとしたデジタルコンテンツも活用しながら、授業だけでなく家庭・地域でも「主体的・対話的で深い学び」を行える環境整備を進めています。様々な背景をもつ児童生徒一人ひとりに「個別最適な学び」を提供するため、クラウド環境を活用した授業づくりを考えることは資質・能力を育成する授業改善の第一歩です。10月後半に実施した2つの能力開発研修の受講者アンケートの記述から、研修での学びの一部を紹介します。

10/22(火) 集合研修

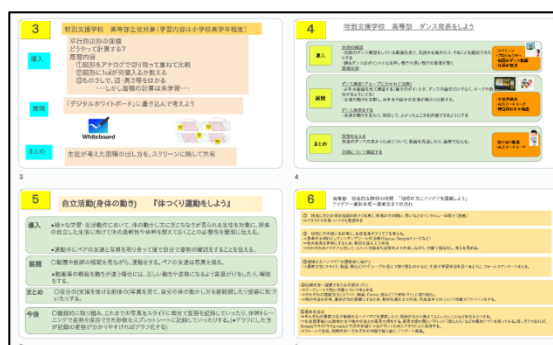
[1287] GIGA スクール時代のクラウド活用講座(Google Workspace for education)

○昔は「カンニング」、今は「他者参照」

- ・知識を覚えることよりも、考え方のトレーニングが重視される時代になっている。
- ・スライドは子ども同士が状況を共有するツールとして活用できると分かった。

○児童生徒が主語の ICT 活用に

- ・日々の自分の実践が指導者が主語となる ICT の活用であったことに気付いた。
- ・学習進度の異なる生徒の個別学習で ICT を使用してみたい。



「他者参照」
一人1スライドで授業案を作成。
作業の状況はいつでも見られる。

10/30(水) ハイブリッド研修(集合あるいはオンライン)

[1288] GIGA スクール時代の NHK for school 活用講座

○校種問わず応用できそうな動画が豊富

- ・番組だけでなく、クリップも活用して見通しをもって構成したい。
- ・教科書や学習指導要領から番組を選ぶことができると分かった。幅広くコンテンツを見ていくことも大切。

○子ども自ら学べる環境づくりのきっかけに

- ・「プレイリスト」機能で必要な情報の中で生徒が自ら学べる学習環境を整えることができる。
- ・教員が見せたいものを指定して検索させるのではなく「プレイリスト」を作って共有できやすくなる。

NHK for School
の使い方(動画)



中国・四国地区教育研究所連盟研究協議会（島根大会）報告

10月10日(木)から10月11日(金)にかけて、島根県民会館にて「中国・四国地区教育研究所連盟研究協議会 島根大会」が開催されました。これは、中国・四国地区の教育研究機関が年に一度集まり、相互に連携を図るとともに、教育に関する研究成果や情報交換を行うものです。54年目を迎える本大会では、国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 白水 始 副部長・総括研究官をお招きし、「テクノロジーと教育の未来」というテーマでご講演をいただきました。また、研究発表等を通して各機関の取組について共有し、時代に応じた教育課題の解決策について協議しました。本大会で得た様々な情報を今後の取組に活かしていくとともに、これからも教育や教育をめぐる諸課題について研究し、その成果を活かして、研修等の事業の充実に努めて参ります。